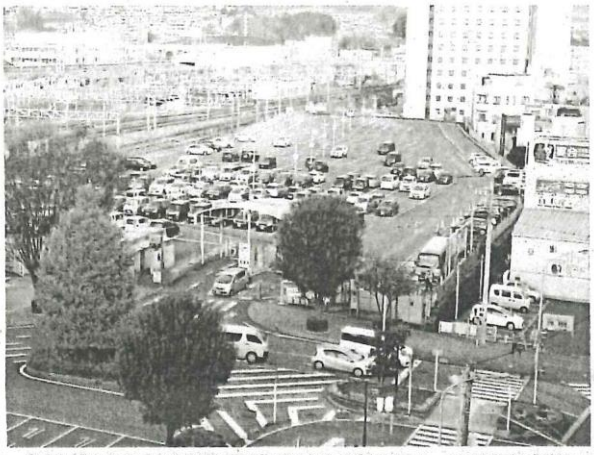
2019年（令和元年）9月11日（水）

毎　日　新　聞

知事 計画反対の意向

三島駅南口再開発 面談で市議に

三島市が進める三島駅南口東街区再開発計画について川勝平太知事の姿勢や考えを確認するため、三島市議7人が9日、県庁で川勝知事と面談した。知事は「駅前には広域的機能が必要」と述べ、高層マンションを含む再開発に反対の意向を示したという。



再開発計画がある三島駅南口東街区。平面駐車場と民地（駐車場の右）からなる＝三島市一番町で

市議7人は自民党から共産党まで超党派・超会派。面談した石井真人市議（新政会）によると、知事は再開発について「市民合意が不可欠である」と述べ、現計画の市民への説明が不足し、市民の合意を得られていないと指摘。「三島の湧水に悪影響があってはならない」と環境への配慮が必要だとの認識を示したという。

東街区約1・3ヘクタールの再開発計画は市が2017年度に事業者を公募し、ミサワホームを代表とする共同企業体「アスマチ三島プロジェクト」が昨年4月に最優秀提案者に選ばれたと発表した。当初は高さ99・5メートルのタワーマンションが建設される計画だったが、市は今年7月に議会に修正案を示した。修正案では、高さが9メートル下がった22階建てマンション・商業施設棟（90・5メートル）▽13階建てホテル・商業施設棟――などを建設する計画。

市民の間からは、湧水への悪影響が懸念される▽富士山の眺望が阻害される―との反対論がある。再開発には国や県の補助金も投入される可能性がある。

【石川宏】